

南原中だより

米沢市立南原中学校

学校通信

2018. 12. 11

南原中最後の生徒会総会・・・

真剣にそしてじっくり振り返った貴重な時間でした

今日の生徒会総会は、南原中学校にとって特別な総会です。それは、南原中学校最後の生徒会総会だからです。

「有終の美を飾る」とよく言いますが、その意味は「物事をやりとおし、最後を立派に仕上げる。結果が立派であること」です。

みなさんは、総会の議案書審議を通して今までの学校生活を振り返り、物事を立派にやりとおしたでしょうか、南中最後の姿を立派に仕上げることであったでしょうかと考えたと思います。もし、まだ不十分だと感じていることがあれば、残り3か月でやり遂げればよいことです。そして有終の美を飾ることで、自信を持って次のステージに立つことができるのだと思います。



話は変わりますが、先日執行部の皆さんに南中生で良かったと思うことを聞いてみました。その中で、「自分に自信を持つことができた。自分がいる意味を今までわからなかったけど、みんなと一緒に活動して仲間を信じることができました。そして同時に、自分はみんなから信頼されているんだとわかり、勇気を持つことができました」と答えてくれた人がいました。

とてもうれしく、そして同じ南中で生活していることを誇らしく思いました。

「南中プライド」はそれぞれの人によって感じ方が違います。でも、確実にみなさんの心に育っていると思います。その思いをこの総会で確認し合い、南中最後の3学期、この南中にいるすべての人が一丸となって有終の美を飾れるようにがんばりましょう。

(生徒会総会 校長あいさつより)



南原中を大切に思う気持ち、大好きな気持ちが本当に伝わってきたとても素晴らしい総会でした。そして「新たな気持ちで次のステージに立とう」という決意もしっかり伝わってきました。最後の三学期、有終の美を飾りましょう！